

科目名	動物内科看護学 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	動物看護科 (3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義	動物看護師の役割、病院業務について知識を習得する	授業ノートの復習
2	4月21日	講義	動物の扱い方、保定方法について知識を習得する	授業ノートの復習
3	4月28日	講義	バイタルサインについて知識を習得する	授業ノートの復習
4	5月12日	講義	看護における観察ポイントについて知識を習得する	授業ノートの復習
5	5月19日	講義	環境管理、衛生管理について知識を習得する	授業ノートの復習
6	5月26日	講義	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りについて知識を習得する	授業ノートの復習
7	6月2日	講義	食事について知識を習得する	授業ノートの復習
8	6月16日	講義	検査に使う医材について知識を習得する	授業ノートの復習
9	6月23日	講義	投薬について知識を習得する	授業ノートの復習
10	6月30日	講義	尿検査について知識を習得する	授業ノートの復習
11	7月7日	講義	便検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	7月14日	講義	血液検査について知識を習得する	授業ノートの復習
13	9月1日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月8日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月15日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名	動物内科看護学Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	動物看護科（3年制） 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月29日	講義	口腔内と歯科について知識を習得する	授業ノートの復習
2	10月6日	講義	X線検査について知識を習得する	授業ノートの復習
3	10月13日	講義	超音波検査について知識を習得する	授業ノートの復習
4	10月20日	講義	静脈留置について知識を習得する	授業ノートの復習
5	10月27日	講義	輸液について知識を習得する	授業ノートの復習
6	11月3日	講義	全身麻酔について知識を習得する	授業ノートの復習
7	11月10日	講義	画像検査（CT/MRI）について知識を習得する	授業ノートの復習
8	11月17日	講義	耳垢検査について知識を習得する	授業ノートの復習
9	11月24日	講義	皮膚の検査について知識を習得する	授業ノートの復習
10	12月1日	講義	看護記録について知識を習得する	授業ノートの復習
11	12月8日	講義	神経学的検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	12月15日	講義	心電図検査と血圧検査について知識を習得する	授業ノートの復習
13	1月12日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月19日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2月2日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名	動物内科看護学実習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	動物看護科 (3年制) 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義+演習	問診技術を習得する	授業ノートの復習
2	4月21日	講義+演習	保定の技術を習得する	授業ノートの復習
3	4月28日	講義+演習	バイタルチェックの技術を習得する	授業ノートの復習
4	5月12日	講義+演習	動物を観察する技術を習得する	授業ノートの復習
5	5月19日	講義+演習	環境管理、衛生管理の技術を習得する	授業ノートの復習
6	5月26日	講義+演習	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りの技術を習得する	授業ノートの復習
7	6月2日	講義+演習	食事の際の技術を習得する	授業ノートの復習
8	6月16日	講義+演習	医材の扱い方法を習得する	授業ノートの復習
9	6月23日	講義+演習	投薬の技術を習得する	授業ノートの復習
10	6月30日	講義+演習	採尿方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
11	7月7日	講義+演習	採便方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
12	7月14日	講義+演習	採血方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
13	9月1日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月8日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月15日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	動物看護科（3年制） 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要技術を習得する						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月29日	講義＋演習	口腔内のケアに必要な技術を習得する	授業ノートの復習
2	10月6日	講義＋演習	X線検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
3	10月13日	講義＋演習	超音波検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
4	10月20日	講義＋演習	静脈留置設置に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
5	10月27日	講義＋演習	点滴に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
6	11月3日	講義＋演習	全身麻酔に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
7	11月10日	講義＋演習	CT/MRI検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
8	11月17日	講義＋演習	耳垢検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
9	11月24日	講義＋演習	皮膚検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
10	12月1日	講義＋演習	看護記録に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
11	12月8日	講義＋演習	神経学的検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
12	12月15日	講義＋演習	心電図検査と血圧検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
13	1月12日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月19日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2月2日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名	動物形態機能学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 河南圭子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務(実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当)					
授業の学習 内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。					
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。 ② 光学顕微鏡下マイクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。 ③ 愛玩動物看護師国家資格の取得					
評価方法と基準	定期試験(第14週目)60点以上で合格とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	からだの成り立ちと基本構造、体腔、解剖用語について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月25日	講義・演習	各動物種の骨格の名称と機能について説明できる。骨の成長と関節の役割について述べるができる。	配布プリントの作成・練習問題
3	5月9日	講義・演習	細胞の構造と機能、細胞膜、細胞小器官の役割について述べるができる。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月16日	講義・演習	核酸の構造と遺伝情報の発現について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
5	5月30日	講義・演習	動物の組織の種類と上皮組織、筋組織、結合組織について説明することができる。□	配布プリントの作成・練習問題
6	6月6日	講義・演習	結合組織に含まれる組織と骨組織、軟骨組織の構成組織を説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
7	6月13日	講義・演習	筋肉の種類と各特徴、筋収縮、エネルギー産生について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
8	6月20日	演習	中間試験(筆記試験)・解答解説・振り返り	これまで実施した演習問題の復習
9	6月27日	講義・演習	循環器を構成する臓器と心臓の構造、心音、心臓について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
10	7月4日	講義・演習	心臓の刺激伝導系と神経支配について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
11	7月11日	講義・演習	血管系の構造と種類、機能について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
12	7月18日	講義・演習	血液の役割と構成成分が説明でき、血球の種類、血漿成分・止血・血液凝固についても説明ができる。	配布プリントの作成・練習問題
13	8月29日	講義・演習	血球の種類、赤血球の機能、白血球の種類・機能について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
14	9月5日	前期試験	前期テスト(筆記試験)60点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月12日	振り返り	振り返り(筆記試験できなかった問題をできるようにする)	前期試験の振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 愛玩動物看護師の教科書 第1巻 緑書房 犬と猫のからだのしくみ				

科目名	公衆衛生学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 河南圭子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務(実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当)					
授業の学習 内容	人獣共通感染症、環境および食品衛生の3分野について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。					
到達目標	公衆衛生の基本的な考え方を理解し、将来は獣医師との協働を通じ、人の健康への貢献ができるようになる。					
評価方法と基準	定期試験(第14週目)60点以上で合格とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	公衆衛生学の概要として、目的、動物衛生との連携およびOne Healthの考え方を理解する。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月25日	講義・演習	感染の成立に必要な3つの要因を理解し、不顕性感染、日和見感染の用語の意味を理解する。	配布プリントの作成・練習問題
3	5月9日	講義・演習	疾病集団発生と健康障害の発生要因について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月16日	講義・演習	疫学とは何か、疫学調査、疫学研究デザインについて理解する。	配布プリントの作成・練習問題
5	5月30日	講義・演習	予防疫学として基本的な予防策、薬剤耐性菌の出現、バイオハザード、バイオセーフティ、サーベイランスについて理解する	配布プリントの作成・練習問題
6	6月6日	講義・演習	院内感染とその対策について考察する。	配布プリントの作成・練習問題
7	6月13日	講義・演習	人獣共通感染症の現状と問題点について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
8	6月20日	演習	中間試験(筆記試験)・解答解説・振り返り	これまで実施した演習問題の復習
9	6月27日	講義・演習	人獣共通感染症の対策とその予防について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
10	7月4日	講義・演習	細菌性人獣共通感染症の概要、感染源、感染経路、症状、対策について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
11	7月11日	講義・演習	ウイルス性人獣共通感染症の概要、感染源、感染経路、症状、対策について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
12	7月18日	講義・演習	狂犬病予防についてワクチン接種、狂犬病予防法について理解し、説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
13	8月29日	講義・演習	真菌・プリオン由来・寄生虫性人獣共通感染症の概要、感染経路、症状、対策について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
14	9月5日	前期試験	前期テスト(筆記試験)60点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月12日	振り返り	振り返り(筆記試験できなかった問題をできるようにする)	前期試験の振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
愛玩動物看護師の教科書 第3巻 緑書房 基礎動物看護学3 ファームプレス				

科目名	ドッグトレーニング演習A I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安齋裕己
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	1989年 Dog Training Club PURE GOLD 開業 元埼玉県警嘱託警察犬訓練士						
授業の学習 内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※ 実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	・定期試験(筆記試験) 60% ・講義・演習中の態度及び、トレーニング成果 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解(実際に犬と接することにより、性格を読み取り、犬具の装・脱着が出来る)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	担当犬の理解(実際に犬と接することにより、性格を読み取り、犬具の装・脱着が出来る)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	招呼(呼び戻し)を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	招呼(呼び戻し)を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	正しいポジションへの招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	正しいポジションへの招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	喜求的招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	停座を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	前期の復習	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		講義・試験	試験(筆記試験)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の復習	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習 時間外学習			学校飼育犬の飼育当番及び観察で充当	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動物感染症学Ⅰ	必修	必修	年次	1	担当 教員	瀬戸口公代
		選択		総時間 (単位)	60 2		
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義				
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、動物病院勤務、往診専門病院開業、web記事執筆、オンライン相談等						
授業の学習 内容	感染症を理解するために、微生物の種類や病原性、検査法まで詳しく学習します。 動物を取り巻く環境と寄生虫の相互関係について理解し予防や検査、治療について学び、 愛玩動物看護師として正しい対応法を身につけましょう。						
到達目標	微生物や寄生虫の分類、伝播様式、発病のメカニズムを理解することができる。人獣共通 感染症について学び、予防医療に役立てることができる。						
評価方法と基準	定期試験(第14週目)60点以上で合格とする。						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4月19日	講義	微生物の分類と特徴について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P196~199の熟読と理解			
2	4月26日	講義	微生物検査の基礎について学び、様々な検査方法を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P200~205の熟読と理解			
3	5月10日	講義	微生物検査の方法、結果の判定などの写真、イラストなどについて正しく説明することができる。				
4	5月17日	講義	抗原検出法と抗体検出法の違いについて理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P206~208の熟読と理解			
5	5月31日	講義	内部寄生虫と外部寄生虫の違い、それぞれの特徴を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P209~211の熟読と理解			
6	6月7日	講義	線虫類の特徴、感染様式、検査方法について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P212~217の熟読と理解			
7	6月14日	講義					
8	6月21日	講義	犬糸状虫について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P217~219の熟読と理解			
9	6月28日	講義	吸虫類、条虫類について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P219~226の熟読と理解			
10	7月5日	講義					
11	7月12日	講義	臨床的重要な原虫類について、生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P226~234の熟読と理解			
12	7月19日	講義					
13	8月30日	講義	外部寄生虫の形態、感染について理解することができる。模擬問題で正解できる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P235~239の熟読と理解			
14	9月6日	試験	前期テスト(筆記試験)60点以上合格	模擬問題を使ったテスト対策			
15	9月13日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習			
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 愛玩動物看護師の教科書第3巻							

科目名	動物栄養学Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 瀬戸口公代
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、動物病院勤務、往診専門病院開業、web記事執筆、オンライン相談等					
授業の学習 内容	あらゆる栄養素について詳しく理解し、個々の動物にあった栄養管理を学びます。動物看護師として、ライフステージに合った健康管理ができることを目指しましょう。					
到達目標	動物に必要な栄養素と、その働きについて正しく理解することができる。					
評価方法と基準	定期試験(第14週目) 60点以上で合格とする。					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4月19日	講義	栄養素と消化、代謝について学び、働きを理解することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P86,87の熟読と理解	
2	4月26日	講義	五大栄養素について正しく理解することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P87~91の熟読と理解	
3	5月10日	講義				
4	5月17日	講義	犬猫に必要なビタミン、ミネラルについて、詳しく理解することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P92.93の表の熟読と理解	
5	5月31日	講義				
6	6月7日	講義	食性、嗜好、摂食行動について理解することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P95の熟読と理解	
7	6月14日	講義	栄養要求量について理解し、計算することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P96~99の熟読と理解	
8	6月21日	講義				
9	6月28日	講義	ペットフードについて正しく理解し、分類することができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P100~103の熟読と理解	
10	7月5日	講義				
11	7月12日	講義	犬や猫に与えてはいけない食べ物について詳しく学び、健康管理に役立てることができる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P104.105の熟読と理解	
12	7月19日	講義				
13	8月30日	講義	前期学習のまとめを行い、模擬問題で正解できる。		愛玩動物看護師の教科書第2巻 P86~105の熟読と理解	
14	9月6日	試験	前期テスト(筆記試験) 60点以上合格		模擬問題を使ったテスト対策	
15	9月13日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。		各自テスト問題の振り返り、復習	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						
愛玩動物看護師の教科書第2巻・新犬と猫のからだのしくみ						

科目名	グルーミング演習A I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	廣瀬
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	TCAベトリマリー科卒、TCAトリマリーアシスタント、ドッグサロンティアラ、goodyone、nunoclub勤務						
授業の学習 内容	"グルーミングは、ワンちゃんが健康的な生活を過ごす為に必要不可欠な授業です。この授業は、グルーミングする上での基礎知識・用語が理解できるように講義と演習を行います。犬種に合わせたグルーミング方法・犬に合わせたコントロールを実習で学び、多くのペット業界で役立つグルーミング知識と技術を習得します。ワンちゃん、オーナー様の為になるよう正しいやり方を学ぶ努力をし、学習してください。"						
到達目標	1)グルーミングがしやすいように犬をコントロールすることができる 2)グルーミングツールを正しく扱える						
評価方法と基準	1. 定期試験:100%(筆記試験を実施) 今まで学んだグルーミングについての筆記試験を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/19・4/26	講義	グルーミングの注意点を学び、安全に演習を行えるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
2	4/19・4/26	講義実習	グルーミング時の犬への接し方について学び、犬の気持ちを考えられるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
3	5/10・5/17	講義	グルーミングツールについて学び、種類を覚えることができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
4	5/10・5/17	講義	皮膚、被毛、シャンプーについて学び、今後のグルーミングにいかすことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
5	5/31・6/7	講義実習	小型犬で講義実習を行い、グルーミングの流れを記すことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
6	5/31・6/7	講義	リーシュの結び方・綿棒の作り方を学び、1人で行うことができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
7	6/14・6/21	演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、メディカルチェックすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
8	6/14・6/21	演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、グルーミングの流れを理解できる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
9	6/28・7/5	演習	犬のコントロール方法を学び、コントロールすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
10	6/28・7/5	演習	ツールの持ち方・動かし方を学び、使い分けすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
11	7/12・7/19	演習	ベijingのポイントを学び、ベijingすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
12	7/12・7/19	演習	ドライグのポイントを学び、ドライグすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
13	8/30・9/13	演習	自己分析をし、自己評価ができる	試験に向けて学んできたことを復習する
14	9月6日	試験	筆記試験	試験を受け、出来なかった点を復習する
15	8/30・9/13	振り返り	前回の演習で見えた弱점에ポイントをおき、弱点を克服できる	解答と説明を再度、復習する
準備学習 時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す		
【使用教科書・教材・参考書】グルーミングツール・筆記用具				

科目名	グッズ制作 I	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根栄子
学科・コース	ペットビジネス専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 1	
教員の略歴						
授業の学習 内容	<p>グッズ製作の基本的な製作は、グッズデザイン・販売、又は接客に必要不可欠な授業です。また、グッズ製作の授業で製作方法を学ぶことが、デザインする為の知識・技術です。授業は実技が中心ですが、製作を通じて素材の違いや、機材の正しい使用方法を学習します。</p>					
到達目標	<p>グッズを作ることができる。 グッズの使用方法を理解する。</p>					
評価方法と基準	<p>小試験ト20% 定期試験ト80% 実技試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	スモッグ	
2	10月11日	講義	スモッグ	
3	10月18日	講義	つなぎ	
4	10月25日	講義	つなぎ	
5	11月1日	講義	つなぎ	
6	11月8日	講義	ドレス	
7	11月15日	講義	ドレス	
8	11月22日	講義	ドレス	
9	11月29日	講義	スリングバッグ	
10	12月6日	講義	スリングバッグ	
11	12月13日	講義	スリングバッグ	
12	1月10日	講義	一人で作れるようになる	試験のための予習と対策
13	1月17日	講義	一人で作れるようになる	
14	1月24日	講義・試験	試験	
15	1月31日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グッズ製作Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根栄子
学科・コース	ペットビジネス専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	日本動物植物専門学校獣医看護科卒、OMファーム岩村、犬猫ハウスパピー、A&Fカントリー勤務、NCA教務部、TCA教務部						
授業の学習 内容	グッズ製作の基本的な製作は、グッズデザイン・販売、又は接客に必要な不可欠な授業です。 また、グッズ製作の授業で製作方法を学ぶことが、デザインする為の知識・技術です。 授業は実技が中心ですが、製作を通じて素材の違いや、機材の正しい使用方法を学習します。						
到達目標	グッズを作ることができる。 グッズの使用方法を理解する。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 実技試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	ミシンなど縫い方 カフェマット	
2	講義	ハーネス	
3	講義	マナーポーチ	
4	講義	おやつポーチ	
5	講義	おさんぽバッグ	
6	講義	生地購入の仕方	
7	講義	Tシャツ	
8	講義	フード付きTシャツ	
9	講義	フード付きTシャツ	
10	講義	ワンピース	
11	講義	ワンピース	
12	講義	一人で作れるようになる	試験のための予習と対策
13	講義	一人で作れるようになる	
14	講義・試験	180分の実技試験	
15	講義	テスト結果からの振り返りを行う	
準備学習 時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	
【使用教科書・教材・参考書】			
型紙 ※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。			

科目名	コミュニケーションスキルアップ I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 岡田美紀 子
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	キャリアコンサルタント ジョブカードアドバイザー 産業カウンセラー TCA講師 慈慶学園他校講師					
授業の学習 内容	近年社会人として専門スキルに加えコミュニケーション能力が大変重視される時代です。仕事だけでなく円滑な学生生活や社会生活にも必要なスキルを学びます。本当に役立つコミュニケーションとは自分自身と相手を理解しつつ、思いやりの心を持ってしっかり自己主張もできることです。仕事での協調作業では議論やコンセンサス、プレゼンテーションといったスキルも必要となります。授業の中で様々なスキルを体験的に学ぶことで個々の自信に繋げ、自主性の強化や就活への意識向上を目的とした授業です。話し方は勿論、文章による表現力の強化も行います。又後期は就活・就職のためにCSU検定の合格に向けた対策授業を実施します。*状況により順番や内容が変わることもあります。					
到達目標	みんなが安心して居られる場、自由に意見を言い合える場としての環境作りを学ぶ 自己理解を深め自分の長所を知る事で自分に自信を持ち、自己PRが上手にできる 自分や相手の思考・言動の傾向を知り、上手な意見交換や協調作業ができる 回答や選択をする際、その理由を一緒に考えることを習慣づけ、それを表現したり自己主張や提案ができる コンセンサスやプレゼンテーション等様々なスキルを段階的かつ体験的に学ぶことで実践で使えるスキルに定着させるCSU検定合格(後期)					
評価方法と基準	定期試験50% 出席率30% 提出物・授業態度20% 評価：GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 60点以上の合格点をもってCの評価とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義&グループワーク	「CSUとは」:授業方法と目的を知る 「キャッチフレーズリレー」:初対面に強くなる	事前学習:テキスト第3章1-1・2購読/事後学習:新生活でスキルを実践し定着を図
2	4月21日	個人&グループワーク	スキルチェック/「私達のお店屋さん」:自分の現在のコミュニケーション力を知る	事後学習:授業振り返りノートの作成. グループワークの共同作業の手法を実践による
3	4月28日	個人ワーク&講義	文章表現:「私がこの道を選んだ理由」 「流れ星」:情報伝達の方法と意味を知る	事後学習:授業振り返りノートの作成.
4	5月12日	グループワーク&講義	「108便」:コンセンサスのスキルを学び、基本的プレゼンテーションができるようになる	事前学習:テキスト第3章II-3・4・5・6購読
5	5月19日	グループワーク&講義	「すごろくトーク」:様々なテーマに対して自分の意見を持ち上手に表現できる	事前学習:テキスト第2章I-1・2・3・4・5/第3章II-1・2購読
6	5月26日	グループワーク&講義	「謎の宝島」1&2:話し合いとコンセンサスがレベルアップできる	事前学習:テキスト第2章II-1・2購読
7	6月2日	グループワーク&講義	「私のイメージ」:別の視点で自分見ること知らなかった自分をの性格を発見できる	事前学習:テキスト第2章I購読/ノンバーバルコミュニケーションとは?
8	6月16日	個人ワーク	「EPPS」性格検査	事後学習:検査の完成
9	6月23日	グループワーク&講義	「バンドメンバーオーディション」:話し合いとコンセンサスのレベルアップができる	事後学習:振り返りノート作成
10	6月30日	グループワーク	「EPPS」採点:マニュアルの読み効率の良い作業方法を知ることができる	事後学習:検査の採点完成. 振り返りノート作成
11	7月7日	講義&個人ワーク	「EPPS」自己分析:自分の性格をより深く知る事ができる	事後学習:自己分析の完成. 振り返りノート作成
12	7月14日	グループワーク&講義	「ストローク」:温かい言葉のやり取りで自分に自信が持てる	事前学習:テキスト第3章I-3購読 事後学習:授業振り返りノートの作成.
13	9月1日	講義&個人ワーク	大学表現:「私の夏休みの」大学表現の基本を学び、分かり易い文章表現ができるようになる	事前学習:作文のテーマ探し~夏休み振り返り 事後学習:文章を完成させる.
14	9月8日	記述試験	前期試験	事前学習:記述試験の準備として前期半年間の教材やテキストの復習
15	9月15日	講義&個人ワーク	振り返り	事後学習:後期授業の準備
準備学習 時間外学習			事前学習で授業の理解力を深め、事後学習と学習実践を通してスキルの定着をはかる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト:「コミュニケーションスキルアップ検定」/ワークは必要に応じてプリント使用。(ワークシート保存用ファイルを準備)				

科目名	コンピューター演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 (株)ブ レーン スタッ フコン サルタ ンツ
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして各自の専門分野において有益な情報を得る ・PC操作をとおして、効果的、効率的にデータ作成をおこなう 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる ・複合文章の作成 (Word)、表計算や表、グラフの作成 (Excel) ができる 					
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/18	演習	講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる	インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる
2	4/25	演習	新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる	
3	5/9	演習	受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる	
4	5/16	演習	個人所有PCで講義を実施するための設定ができる Officeソフト共通の基本操作ができる	
5	5/30	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	
6	6/6	演習	画像や図形を駆使した文書を作成できる	
7	6/13	演習	表を駆使した文書を作ることができる	
8	6/20	演習	インターンシップの報告書を作成する準備ができる	
9	6/27	演習	表計算ソフトの基本操作ができる 後期発表資料のシナリオを作ることができる	
10	7/4	演習	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	
11	7/11	演習	関数を駆使した資料を作成できる	
12	7/18	演習	グラフを駆使した資料を作成できる	
13	8/29	演習	Excel基礎で習ったことを実践できる	
14	9/5	演習	Excel試験問題の実施	
15	9/12	演習	前期の振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				

科目名	コンピューター演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 (株)ブ レーン スタッ フコン サルタ ンツ
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして各自の専門分野において有益な情報を得る ・PC操作をとおして、効果的、効率的にデータ作成をおこなう 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる ・PowerPointを使用して訴求力のあるスライド作成ができる 					
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/3	演習	必要な情報をインターネットで検索したり、ファイル・フォルダの仕組みを理解して操作したりすることができる	<p style="text-align: center;">インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる</p>
2	10/10	演習	AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身に付け、適正かつ有効に活用できる	
3	10/17	演習	AI機械学習について実践を通してより深めることができる	
4	10/24	演習	スライド作成の基本的な操作ができる	
5	10/31	演習	PowerPointを使用し、紙芝居を作成することができる	
6	11/7	演習	何を伝えるかを簡潔に示したスライド作成の設計ができる	
7	11/14	演習	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	
8	11/21	演習	表の活用・図表の効果的な表現をすることができる	
9	11/28	演習	フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集できる	
10	12/5	演習	作成したスライドを使って発表できる(1)	
11	12/12	演習	作成したスライドを使って発表できる(2)	
12	1/9	演習	長文作成における必要な操作ができる	
13	1/16	演習	PowerPoint基礎で習ったことを実践できる	
14	1/23	演習	PowerPoint試験問題の実施	
15	1/30	演習	後期の振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。				

科目名	動物臨床検査学実習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価を理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』『疾病動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様への的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:30%(状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により5点までの減点) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	犬糸状虫症についての復習とその検査意義を理解する	今までの授業ノート 確認テストの提出
2	月 日	講義・実習	飼育動物の犬糸状虫の検査ができる	授業ノート・配布プリントの熟読 確認テストの提出
3	月 日	講義	狂犬病についての復習と予防接種の準備・接種の補助・接種後の手続きについて理解する	今までの授業ノート 確認テストの提出
4	月 日	講義・実習	飼育動物の狂犬病予防ワクチン接種の準備・書類の作成・説明ができる	今までの授業ノート 確認テストの提出
5	月 日	講義	血液検査の流れを確認する	今までの授業ノート・プリント 確認テストの提出
6	月 日	実習	セルタック・HCT管・ドライケムの実施 血液塗抹標本の作製	今までの授業ノート・プリント 確認テストの提出
7	月 日	実習	セルタック・HCT管・ドライケムの実施 血液塗抹標本の作製	今までの授業ノート・プリント 確認テストの提出
8	月 日	実習	セルタック・HCT管・ドライケムの実施 血液塗抹標本の作製	今までの授業ノート・プリント 確認テストの提出
9	月 日	講義・実習	ライトギムザ染色の実施	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10	月 日	講義・実習	グラム染色の実施	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11	月 日	講義・実習	貧血の分類 ニューメチレンブルー染色の実施	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12	月 日	講義・実習	尿検査塗抹標本の作製	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13	月 日	講義・実習	検体の封入	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14	月 日	試験	定期試験の実施(筆記試験)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書該当部位・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	適正飼育指導論 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師として必要な愛玩動物の知識を身に付けます 愛玩動物の適正飼養について学び、実践するための知識を身に付けます 動物管理行政について学びます 適正飼育を学び、動物飼育を実践します。						
到達目標	1. 愛玩動物について知り、愛玩動物飼育の恩恵・問題点・ペットロスについて知ることができる 2. 愛玩動物の適正飼養について学び、実践・指導することができる 3. 災害危機管理についてしその支援ができる 4. 動物愛護管理行政について学び、愛護センターの仕事内容や動物取扱業について知ることができる						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:30%(状況によって40%まで変更あり・提出物の内容により5点までの減点) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	オリエンテーション実施	愛玩動物看護師に向けて目標を設定する
2	月 日	講義	動物飼育についての基礎知識を知る	飼育マニュアルの熟読と理解
3	月 日	講義	飼育当番について内容を知り理解する	飼育マニュアルの熟読と理解
4	月 日	講義	人間と犬猫の関係について知る	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
5	月 日	講義	愛玩動物看護師法について知る 飼育動物の飼育をする①	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
6	月 日	講義	動物の愛護及び管理に関する法律について 知る 飼育動物の飼育をする②	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
7	月 日	講義	マイクロチップのしくみ・装着の推進について 知る 飼育動物の飼育をする③	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
8	月 日	講義	動物虐待について知る 飼育動物の飼育をする④	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
9	月 日	講義	ペットロスとその対応について知る 飼育動物の飼育をする⑤	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
10	月 日	講義	動物の適正飼育について知る① 飼育動物の飼育をする⑥	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
11	月 日	講義	動物の適正飼育について知る② 飼育動物の飼育をする⑦	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
12	月 日	講義	動物の適正飼育について知る③ 飼育動物の飼育をする⑧	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
13	月 日	講義	今までの総確認をすることができる 飼育動物の飼育をする⑨	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 前期試験に向けての勉強
14	月 日	試験	前期試験の実施(筆記) 飼育動物の飼育をする⑩	試験問題のやり直し
15	月 日	講義	振り返り 飼育動物の飼育をする⑪	誤答の再確認
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書第 巻・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物臨床検査学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナーからの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』『疾病動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナーへの的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:30%(状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により加減あり) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	臨床検査とは? 顕微鏡の操作方法を知る	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
2	月 日	講義	血球検査について理解できる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
3	月 日	講義	生化学検査について理解できる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
4	月 日	講義	抗凝固剤・抗凝固処理についてしていることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
5	月 日	講義	採血ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
6	月 日	講義	血球検査の流れを知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
7	月 日	講義	血球検査の流れを知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
8	月 日	講義	生化学検査の流れをしることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
9	月 日	講義・実習	生化学検査の流れをしることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
10	月 日	講義・実習	生化学検査の流れをしることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
11	月 日	講義	塗抹標本の作製についてしていることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
12	月 日	講義	塗抹標本の作製・評価をしることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
13	月 日	実習	血液検査の総合評価ができる	教科書該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14	月 日	試験	定期試験の実施(筆記試験)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書第6巻・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物臨床検査学実習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナーからの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』『疾病動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナーへの的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:30%(状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により加減あり) 3. 出席率・授業中の態度 & 参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	実習	臨床検査とは?顕微鏡が正しく使用できる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
2	月 日	講義	血球検査について理解できる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
3	月 日	講義	生化学検査について理解できる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
4	月 日	講義	抗凝固剤・抗凝固処理・血清分離について	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
5	月 日	実習	採血の手順について知る	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
6	月 日	実習	HCT管検査・血球検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
7	月 日	実習	HCT管検査・血球検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
8	月 日	実習	生化学検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
9	月 日	実習	生化学検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
10	月 日	実習	生化学検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
11	月 日	実習	塗抹標本の作製ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
12	月 日	実習	塗抹標本の作製ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
13	月 日	実習	血液検査の実施・評価・報告ができる	教科書該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14	月 日	試験	定期試験の実施(実技試験)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書第6巻・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物愛護・適正飼養学実習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な知識を身に付けます。 飼育動物の適正飼育についての知識を身に付け実践します。 飼育についての評価を実施し、今後の課題や問題点について改善できる人間力を育てます。						
到達目標	1. 『健康な動物』『疾病動物』について知ることが出来る 2. 飼育動物(愛玩動物)の適正飼育について理解し、実施出来る 3. 飼育動物の飼育カルテの作成・記入・評価が出来る 4. 獣医師の指導のもと、適切な健康管理ができる						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:10%(状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により加減あり) 3. 飼育当番への参加:20% 4. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	飼育当番へ意欲的な取り組みについて理解する 現在の問題点を話し合うことができる	飼育動物のカルテへの記入 飼育当番マニュアルの熟読
2	月 日	講義	飼育当番マニュアルの訂正と改善 内容の再検討	飼育動物のカルテへの記入 飼育当番マニュアルの作成
3	月 日	講義	飼育マニュアルの作成	飼育動物のカルテへの記入 飼育当番マニュアルの作成
4	月 日	講義	犬糸状虫・検査・予防薬について知ることが出来る	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
5	月 日	実習	飼育動物の犬糸状虫の検査ができる 予防薬を準備できる	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
6	月 日	講義	狂犬病について知ることが出来る	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
7	月 日	講義・実習	飼育動物への狂犬病予防接種の実施 狂犬病予防に関する法律と手続きが理解できる	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
8	月 日	講義・実習	適正飼育における行政の役割について知る	飼育動物のカルテへの記入 飼育当番内での正しい口腔ケアの実施
9	月 日	講義	適正飼育における行政の役割について知る	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
10	月 日	講義	飼育における適正飼養を実践する	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
11	月 日	講義	飼育における適正飼養を実践する	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
12	月 日	講義	飼育における適正飼養を実践する	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
13	月 日	講義	飼育における適正飼養を実践する	飼育動物のカルテへの記入 ノート・配布資料の熟読と理解
14	月 日	試験	定期試験の実施(筆記試験)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書第6巻・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物外科看護学 I	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師として外科処置時に必要な知識・仕事内容について知識を身に付けます。 入院動物の看護についての知識を身に付け実践します。 手術室内・手術器具・入院舎の衛生管理・消毒・滅菌等について知識を身に付けます。 術者・助手・外回り・滅菌について理解し、正確に実践できる知識を身に付けます。						
到達目標	1. 術前・術中(外回り・麻酔管理)・術後に必要な動物の管理ができる 2. 滅菌について理解し、手術器具の名称・用途を知った上で、手術室の準備・手術器具の滅菌ができる 3. 麻酔前後・麻酔中の愛玩動物看護師の仕事を知り、モニタリングについて理解し実践できる 4. 手術助手としての手洗い・ガウンや手袋の装着・メス刃の着脱などができる						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:10%(状況によって40%まで変更あり) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	創傷の分類と管理について知る 動物外科とは?総論を学ぶことができる 滅菌・消毒・殺菌・洗浄の違いを知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
2	月 日	講義・実習	包帯法・キャストリングについて知る 手術室内の清掃・整理・器具の移動が実施できる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
3	月 日	講義	術前準備① 手術器具の名称・用途について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
4	月 日	講義・実習	術前準備② 手術器具の名称・用途について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
5	月 日	講義・実習	術前準備③ 手術器具・パッキングについて知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
6	月 日	講義・実習	術前準備④ 滅菌(オートクレーブ・ガス滅菌)ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
7	月 日	講義・実習	術前準備⑤ 術前動物看護(血液検査・留置針・点滴)ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
8	月 日	講義・実習	術前準備⑥ 歯科器具について知る・吸引機について知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
9	月 日	講義・実習	術前準備⑦ドレープ・ガウンの準備 手洗い・手袋装着・ガウン装着ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10	月 日	講義・実習	麻酔前準備① 麻酔の流れ・手順を知る 術前投与薬・麻酔について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11	月 日	講義・実習	麻酔前準備② 手術室・麻酔器の準備ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12	月 日	講義・実習	麻酔前準備① 毛刈りと消毒について知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13	月 日	講義・実習	麻酔前準備② 導入・気管内挿管の準備ができる	教科書該当項目の熟読 定期テストにむけての復習
14	月 日	試験	定期試験(筆記・実技実施予定)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習		授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強		
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書・動物看護実習テキスト・配布資料・ホワイトボード・まとめノート(自作) 実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物外科看護学実習 I	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師として外科処置時に必要な知識・仕事内容について知識を身に付けます。 入院動物の看護についての知識を身に付け実践します。 手術室内・手術器具・入院舎の衛生管理・消毒・滅菌等について知識を身に付けます。 術者・助手・外回り・滅菌について理解し、正確に実践できる知識を身に付けます。						
到達目標	1. 術前・術中(外回り・麻酔管理)・術後に必要な動物の管理ができる 2. 滅菌について理解し、手術器具の名称・用途を知った上で、手術室の準備・手術器具の滅菌ができる 3. 麻酔前後・麻酔中の愛玩動物看護師の仕事を知り、モニタリングについて理解し実践できる 4. 手術助手としての手洗い・ガウンや手袋の装着・メス刃の着脱などができる						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:10%(状況によって40%まで変更あり) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	手術着の作製ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
2	月 日	講義・実習	包帯法・キャストイングができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
3	月 日	講義	手術器具の名称と形状の把握ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
4	月 日	講義・実習	メス刃・縫合針と縫合糸の装着ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
5	月 日	講義・実習	手術器具のパック等ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
6	月 日	講義・実習	滅菌機器の取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
7	月 日	講義・実習	留置針の装着・点滴や入院管理ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
8	月 日	講義・実習	歯科器具のセッティング・片付けができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
9	月 日	講義・実習	ガウン・滅菌布をたたみ梱包ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10	月 日	講義・実習	麻酔の流れをすることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11	月 日	講義・実習	麻酔機器のセッティング・取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12	月 日	講義・実習	手術動物の毛刈り・消毒ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13	月 日	講義・実習	気管チューブの準備・挿管の保定・流れ・片付け ができる	教科書該当項目の熟読 定期テストにむけての復習
14	月 日	試験	定期試験(筆記・実技実施予定)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月 日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書・動物看護実習テキスト・配布資料・ホワイトボード・まとめノート(自作) 実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	栄養学Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野みち代
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	mal Nutrition Professional (AICA認定) 犬猫の飼い主への自然食・療法食指導・動物系学校講師、海外シェルターボランティア						
授業の学習内容	ペットビジネスの犬猫の栄養学では、カフェやレストランでメニューを作る、また接客で適切な説明を行うために必要不可欠で実践的な知識と情報と知恵を学びます。同時に身体の仕組みまで包括的に理解することで、実際に活かすための知識と技術が身に付きます。実践に即した栄養学を学び、犬猫に適切で安全な食事を提供することができるプロになれるよう、学習してください。授業では座学と実習を取り入れます。実習を通じては、実際に犬猫の食事を作り、調理技術とコストパフォーマンス、顧客満足、犬猫たちの満足と喜びを主に感じ、学習します。						
到達目標	食事は生物の身体を作る基本であると同時に喜びや楽しみであることを伝えることができるようになる 健康な犬猫の消化に適切なごはんを作ることができるようになる 食材の持つ栄養的側面を活かしたごはんやカフェメニューを作ることができるようになる テーマや季節に沿った犬猫用のカフェメニューを作ることができるようになる						
評価方法と基準	定期試験60% 出席日数、授業態度、実習への参加、取り組みの姿勢なども評価の対象とする40% 筆記試験+出席日数+取組姿勢を100点換算で評価: GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する 追試験1回(定期試験と同じ内容)をもってOの評価とする						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットフードの外袋を用意し持参すること(ドライフード・ウェットフード共) ・ また、ラベルを読んで、どのようなことが記載されているか確認する ・ 実習のための食材の買い出し、および調理の準備を時間外学習に充当する(※実習のあるときはいつでも)
2	4月27日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(2)	
3	5月11日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(3)	
4	5月18日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(4)	
5	5月25日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(5)	
6	6月1日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(6)	
7	6月15日	講義+実習	犬猫の栄養学: ペットフードについて学ぶ(7)	
8	6月22日	講義+実習	犬猫の栄養学: からだに優しいごはんを理解する	「ペットの健康ごはん」P. 25~43の熟読し理解
9	6月29日	講義+実習	犬猫の栄養学: 自然食について理解し、自然食を作り、与えることができるようになる	「ペットの健康ごはん」P. 45~52: 犬の手作りごはん、P. 69~79: 猫の手作りごはんの熟読と理解
10	7月6日	講義+実習	犬猫の栄養学: 自然食の注意点および栄養バランスの考え方を学び理解する	
11	7月13日	講義+実習	犬猫の栄養学: 自然食への切り替え方	
12	7月20日	講義+実習	犬猫の栄養学: 日常生活で自然食を取り入れる	
13	8月31日	講義	試験事前対策: 小テスト	前期で使用したテキストを整理して引用しやすくしておく、参考書の試験範囲の予習と対策をする
14	9月7日	前期試験	前期試験60分	小テスト、およびテキストの試験範囲を復習して試験対策を行う
15	9月14日	講義+実習	試験の内容を振り返り知識の理解を深める	実習のための食材の買い出し、および調理の準備を時間外学習に充当する
準備学習 時間外学習			事前準備では食材の持つ栄養的意味やコスト意識を学ぶ、事後学習では学習内容について振り返りを促し知識の定着を図る	

【使用教科書・教材・参考書】
「もう迷わない! ペットの健康ごはん」本村伸子著(コロ出版)、講師が準備する資料・テキスト

科目名	栄養学Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野みち代
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	mal Nutrition Professional (AHC認定) 犬猫の飼い主への自然食・療法食指導・動物系学校講師、海外シェルターボランティア						
授業の学習内容	ペットビジネスの犬猫の栄養学では、カフェやレストランでメニューを作る、また接客で適切な説明を行うために必要不可欠で実践的な知識と情報と知恵を学びます。同時に身体の仕組みまで包括的に理解することで、実際に活かすための知識と技術が身に付きます。実践に即した栄養学を学び、犬猫に適切で安全な食事を提供することができるプロになれるよう、学習してください。授業では座学と実習を取り入れます。実習を通じては、実際に犬猫の食事を作り、調理技術とコストパフォーマンス、顧客満足、犬猫たちの満足と喜びを主に感じ、学習します。						
到達目標	食事は生物の身体を作る基本であると同時に喜びや楽しみであることを伝えることができるようになる 健康な犬猫の消化に適切なごはんを作ることができるようになる 食材の持つ栄養的側面を活かしたごはんやカフェメニューを作ることができるようになる テーマや季節に沿った犬猫用のカフェメニューを作ることができるようになる						
評価方法と基準	定期試験60% 出席日数、授業態度、実習への参加、取り組みの姿勢なども評価の対象とする40% 筆記試験+出席日数+取組姿勢を100点換算で評価: GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する 追試験1回(定期試験と同じ内容)をもってOの評価とする						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	10月5日	講義+実習	犬猫の栄養学: 年齢ごとの食事の特徴について理解する(1)	「ペットの健康ごはん」P.53~59、P.80~85の熟読と理解		
2	10月12日	講義+実習	犬猫の栄養学: 年齢ごとの食事の特徴について理解する(2)			
3	10月19日	講義+実習	犬猫の栄養学: 年齢ごとの食事の特徴について理解する(3)			
4	10月26日	講義+実習	犬猫の栄養学: 犬種で気をつけるべき栄養素について理解する	「ペットの健康ごはん」P.61~63の熟読と理解		
5	11月2日	講義+実習	犬猫の栄養学: 食材の特徴を学び、理解し、メニューに活かすことができるようになる①	実習のための食材の買い出し、および調理の準備を時間外学習に充当する (※実習のあるときはいつでも)		
6	11月9日	講義+実習	犬猫の栄養学: 食材の特徴を学び、理解し、メニューに活かすことができるようになる②			
7	11月16日	講義+実習	犬猫の栄養学: 食材の特徴を学び、理解し、メニューに活かすことができるようになる③			
8	11月23日	講義+実習	毎日のごはんやカフェメニューの選いを学ぶ ドッグカフェのメニューを企画する			
9	11月30日	講義+実習	ドッグカフェメニュー実践①			
10	12月7日	講義+実習	ドッグカフェメニュー実践②			
11	12月14日	講義+実習	ドッグカフェメニュー実践③			
12	1月11日	講義+実習	ドッグカフェメニュー実践④			
13	1月18日	講義	試験事前対策: 小テスト		後期で使用したテキストを整理して引用しやすくしておく、参考書の試験範囲の予習と対策をする	
14	1月25日	前期試験	後期試験 60分		小テスト、およびテキストの試験範囲を復習して試験対策を行う	
15	2月1日	講義+実習	試験の内容を振り返り知識の理解を深める	実習のための食材の買い出し、および調理の準備を時間外学習に充当する		
準備学習 時間外学習		事前準備では食材の持つ栄養的意味やコスト意識を学ぶ、事後学習では学習内容について振り返りを促し知識の定着を図る				

「もう迷わない! ペットの健康ごはん」本村伸子著(コロ出版)、講師が準備する資料・テキスト

科目名	外科疾患	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は犬猫の代表的な外科疾患を理解し、必要となる検査、麻酔、手術器具、治癒過程など外科の基礎を学ぶことが目的です。同時に外科疾患患者における看護の仕方を学びます。						
到達目標	1)犬猫の代表的な外科疾患を理解し、説明できるようになる 2)外科手術に必要な検査、麻酔、手術器具、治癒過程など理解を深める 3)生殖器の疾病予防となる避妊・去勢手術の流れを理解し、手術時の注意点を学ぶ 4)外科疾患患者の看護の仕方を学ぶ						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~60 *本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	外科手術において動物看護師の役割を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	犬の代表的な外科疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義	猫の代表的な外科疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	外科手術前の血液検査について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	外科手術前のX線検査など画像検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	気を付けるべき呼吸状態と対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	麻酔の役割・管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	手術に使用する縫合糸や器具について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	輸液の役割および管理の仕方を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	犬猫の去勢時手術の仕方などについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	犬猫の避妊手術の仕方などについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	症例から診断ならびに治療を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習		授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる		
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	人と動物の関係学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして犬の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学ぶ ・人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題などを含めて理解する ・授業内において書籍を紹介し、出来るだけ書籍を通して様々な視点から動物について考える ・後期の授業である「生命倫理・福祉」とも関連しており、動物福祉を常に考えられる動物看護師になって欲しい 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人と動物の関係性について動物看護師としてその歴史的な背景、動物観を考えられるようになる ・日本と欧米との動物への考え方の違いを理解する ・動物がいかにか人間の生活に入り込んでいるかを考えられるようになる 						
評価方法と基準	筆記試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方/ヒューマン・アニマル・ボンドの概要	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	欧米と日本の動物間の相違を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	様々な動物における家畜化を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物虐待と児童虐待との関わりを理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	日本における動物に関わる問題を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	動物が人に及ぼす影響を考えて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	動物介在介入の目的と内容について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	動物介在介入に使用される動物の衛生面と適性について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	動物の問題行動について理解する	動物の問題行動についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	カーミングシグナルについて理解する	カーミングシグナルについての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	動物介在介入に対する動物病院の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
愛玩動物看護師の教科書第6巻愛護・適正飼養学				

科目名	適正飼育指導論 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師として必要な愛玩動物の知識を身に付けます 愛玩動物の適正飼養について学び、実践するための知識を身に付けます 動物管理行政について学びます 適正飼育を学び、動物飼育を実践します。						
到達目標	1. 愛玩動物について知り、愛玩動物飼育の恩恵・問題点・ペットロスについて知ることができる 2. 愛玩動物の適正飼養について学び、実践・指導することができる 3. 災害危機管理についてしその支援ができる 4. 動物愛護管理行政について学び、愛護センターの仕事内容や動物取扱業について知ることができる						
評価方法と基準	1. 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト:30%(状況によって40%まで変更あり・提出物の内容により5点までの減点) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	月 日	講義	オリエンテーション実施	愛玩動物看護師に向けて目標を設定する
2	月 日	講義	動物飼育についての基礎知識を知る	飼育マニュアルの熟読と理解
3	月 日	講義	飼育当番について内容を知り理解する	飼育マニュアルの熟読と理解
4	月 日	講義	人間と犬猫の関係について知る	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
5	月 日	講義	愛玩動物看護師法について知る 飼育動物の飼育をする①	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
6	月 日	講義	動物の愛護及び管理に関する法律について 知る 飼育動物の飼育をする②	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
7	月 日	講義	マイクロチップのしくみ・装着の推進について 知る 飼育動物の飼育をする③	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
8	月 日	講義	動物虐待について知る 飼育動物の飼育をする④	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
9	月 日	講義	ペットロスとその対応について知る 飼育動物の飼育をする⑤	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
10	月 日	講義	動物の適正飼育について知る① 飼育動物の飼育をする⑥	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
11	月 日	講義	動物の適正飼育について知る② 飼育動物の飼育をする⑦	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
12	月 日	講義	動物の適正飼育について知る③ 飼育動物の飼育をする⑧	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 確認テストに向けての勉強
13	月 日	講義	今までの総確認をすることができる 飼育動物の飼育をする⑨	授業ノート及び教科書該当項目の熟読 前期試験に向けての勉強
14	月 日	試験	前期試験の実施(筆記) 飼育動物の飼育をする⑩	試験問題のやり直し
15	月 日	講義	振り返り 飼育動物の飼育をする⑪	誤答の再確認
準備学習 時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書第 巻・配布資料・ホワイトボード 動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする				

科目名	動物形態機能学実習	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	宮川明子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	動物の身体の形態と機能を骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ						
到達目標	1)動物の解剖生理(名称や配置、機能など)を理解する 2)骨格模型や臓器模型からさらに理解を深める 3)顕微鏡の各部名称ならびに使用方法を理解し、実施する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0 *本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	基本的な細胞と組織を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月24日	講義+実習	顕微鏡の使い方を理解する(細胞)	授業ノート、配布資料を見直す
3	5月8日	講義	心臓の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月15日	講義	呼吸器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月22日	実習	心臓の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月29日	実習	呼吸器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月5日	講義	消化器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月12日	講義	消化器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月19日	実習	消化器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
10	6月26日	講義	腎泌尿器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月3日	実習	腎泌尿器の解剖実習	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月10日	講義+実習	血液塗抹実習	授業ノート、配布資料を見直す
13	8月28日	講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月4日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習		授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる		
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	動物理学療法 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	千葉
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	長,動物の理学療法分野に寄与されている。						
授業の学習内容	基本的な動物理学療法の理解(骨格・筋肉を中心に学ぶ)						
到達目標	マッサージの技術を習得する。						
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)小テスト20% 3)レポート・論文20% 1)定期テスト60% 2)出席数40% 1)定期テスト(筆記100% 実技20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	動物理学療法を理解する	授業の復習
2	4/27	講義	犬の体について	前回授業の復習&レポートの確認
3	5/11	講義	犬種の違い	前回授業の復習&レポートの確認
4	5/18	講義	行動学	前回授業の復習&ワークシートの確認
5	5/25	講義	犬の感情	前回授業の復習&ワークシートの確認
6	6/1	講義	Massageの理論	前回授業の復習&レポートの確認
7	6/15	講義と実習	Massageの実技	前回授業の復習&ワークシートの確認
8	6/22	講義と実習	Massageの手順	前回授業の復習&ワークシートの確認
9	6/29	講義と実習	Massageの手順	前回授業の復習&ワークシートの確認
10	7/6	講義と実習	ストレッチとは	前回授業の復習&レポートの確認
11	7/13	講義	関節の構造と役割	前回授業の復習&レポートの確認
12	7/20	講義	骨格筋の名称と役割を学ぶ 1	前回授業の復習&レポートの確認
13	8/31	講義と実習	骨格筋の名称と役割を学ぶ 2	前回授業の復習&レポートの確認
14	9/7	試験	前期試験	前期の復習
15	9/14	振り返り	試験返却&前期振り返り	前期の総復習
準備学習 時間外学習			準備学習 時間外学習の方向性など	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル版				

科目名	動物臨床看護学各論 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	様々な疾患の病態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。 各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。						
到達目標	1) 基本的な解剖および生理について理解する 2) 代表的な徴候や病態、疾患について理解する 3) 徴候の評価と記録法について理解する 4) 徴候・疾患に基づいた援助について理解する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~60 * 本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	循環器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月24日	講義	循環器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	5月8日	講義	呼吸器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月15日	講義	呼吸器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月22日	講義	泌尿器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月29日	講義	泌尿器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月5日	講義	消化器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月12日	講義	消化器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月19日	講義	栄養管理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	6月26日	講義	皮膚疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月3日	講義	眼・口腔内疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月10日	講義	緊急疾患の対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	8月28日	講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月4日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			学校犬飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	様々な疾患の病態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。 各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。						
到達目標	1)基本的な解剖および生理について理解する 2)代表的な徴候や病態、疾患について理解する 3)徴候の評価と記録法について理解する 4)徴候・疾患に基づいた援助について理解する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0 *本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	内分泌器官の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	内分泌疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義	内分泌疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	生殖器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	造血器官・免疫器官の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	造血疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	腫瘍の概要および検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	腫瘍の治療・腫瘍随伴症候群を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	神経系・骨格筋の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	整形外科疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	緊急疾患の対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			学校犬飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	動物理学療法Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	千葉
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	エーディーサマーズ代表、動物の理学療法分野に寄与されている。						
授業の学習内容	様々な理学療法について理解する						
到達目標	講義を理解し、自分なりに新たな理論を織り交ぜながら構築出来るようになる						
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)小テスト20% 3)レポート・論文20% 1)定期テスト60% 2)出席数40% 1)定期テスト(筆記100% 実技20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	温熱療法を理解する	1年次に学んだ事の確認
2	4/27	講義	温熱療法の活用	前回授業の復習&レポートの確認
3	5/11	講義	東洋獣医学を理解する	前回授業の復習&レポートの確認
4	5/18	講義	ツボを理解する	前回授業の復習&ワークシートの確認
5	5/25	講義	指圧を理解する	前回授業の復習&ワークシートの確認
6	6/1	講義	指圧療法を理解する	前回授業の復習&レポートの確認
7	6/15	講義と実習	指圧療法を体験する	前回授業の復習&ワークシートの確認
8	6/22	講義と実習	カイロとは	前回授業の復習&ワークシートの確認
9	6/29	講義と実習	カイロを体験する	前回授業の復習&ワークシートの確認
10	7/6	講義と実習	水中運動を理解する	前回授業の復習&レポートの確認
11	7/13	講義	レーザー療法を理解する	前回授業の復習&レポートの確認
12	7/20	講義	レーザー療法を体験する	前回授業の復習&レポートの確認
13	8/31	講義と実習	watertreddmillの実技のテスト	前回授業の復習&レポートの確認
14	9/7	試験	前期試験	前期の復習
15	9/14	振り返り	試験返却&前期振り返り	前期の総復習
準備学習 時間外学習			準備学習 時間外学習の方向性など	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル版				

科目名	動物理学療法Ⅲ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	千葉
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	エーディーサマーズ代表,動物の理学療法分野に寄与されている。						
授業の学習内容	1.2年次に学んだ事から適切なプロトコルを作成する						
到達目標	様々なエビデンスから論文を書けるようになる						
評価方法及び基準	1)定期試験60% 2)小テスト20% 3)レポート・論文20% 1)定期テスト60% 2)出席数40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/17	講義	カウンセリングとは	カウンセリング例を調べてみる
2	4/24	講義	プロトコルとは	プロトコル例を調べてみる
3	5/8	講義と実習	プロトコルを作ろう	前回までの復習
4	5/15	講義と実習	プロトコルを作ろう	前回までの復習
5	5/22	講義と実習	プロトコルを実践1	前回までの復習
6	5/29	講義と実習	温熱療法・寒冷療法	前回までの復習
7	6/5	講義	東洋獣医学についての復習	よもぎの効果を調べてみる
8	6/12	講義と実習	棒灸を作ろう	前回までの復習
9	6/19	講義と実習	プロトコルの見直し1	前回までの復習 & 学校犬で実践する
10	6/26	講義と実習	プロトコルの見直し2	前回までの復習 & 学校犬で実践する
11	7/3	講義	プロトコルの見直し3	前回までの復習 & 学校犬で実践する
12	7/10	講義	プロトコルの見直し4	前回までの復習 & 学校犬で実践する
13	8/28	講義と実習	新たなプロトコルを作る	前回までの復習 & 新しいプロトコルを考
14	9/4	試験	カウンセリングの実技	前期の復習
15	9/11	振り返り	カウンセリングの評価	実技の評価 & 前期までの総復習
準備学習 時間外学習			準備学習 時間外学習の方向性など	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル版				

科目名	動物理学療法Ⅴ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	和田
学科・コース	動物看護科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	犬の健康を維持する為に必要な「正しい姿勢」「弱い部分の強化」について学んでいきます。						
到達目標	・その子に合ったストレッチ、バランスボールなどの正しいフィットネス運動の指導が出来るようになる事。						
評価方法と基準	実技試験の実施						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/19	講義・実習	これからの授業内容と進め方 体の見立て(姿勢・歩行)	学んだ事の授業振り返り
2	4/26	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
3	5/10	講義・実習	ヘルニアの子のアプローチ、ストレッチレ ーニング	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
4	5/17	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
5	5/31	講義・実習	後肢強化ストレッチ・トレーニング	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
6	6/7	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
7	6/14	講義・実習	パテラ関節炎の子へのアプローチ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
8	6/21	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
9	6/28	講義・実習	シニア犬へのアプローチ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
10	7/5	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
11	7/12	講義・実習	脳への刺激・脳トレ・選別トレーニング	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
12	7/19	講義・実習	先週の復習(実技テスト含む)・ストレッチ・ マッサージ	先週の授業内容の振り返り・学校犬で復習
13	8/30	講義・実習	今までの復習	今まで学んだ事の復習
14	9/6	試験	前期テスト	前期のまとめ
15	9/13	講義・実習	テスト返却・振り返り	試験返却・前期の振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				